学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 数学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標			周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら			学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3					
		論理的・批判的に思考し、諸問題を能動的に解決できる能力	社会に普及・教授する能力	教養と国際的な視点と対話能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	12単位	合計30単位修得
専門科目		○						16単位	
一般教養科目		○		○				2単位	
正課外	研究倫理教育	○							
	情報倫理教育	○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 物理学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1			DP2	DP3					
		高度な物理学の学識	高度な研究能力	諸問題を能動的に解決できる能力	社会に普及・教授する能力	国際的な視点と対話能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	8単位	合計30単位修得
専門科目		○								18単位	
一般教養科目		○				○				4単位	
正課外	研究倫理教育	○									
	情報倫理教育	○									

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 化学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1		DP2	DP3	DP4					
		専門的な知識	さまざまな現象を解明することができる能力	自らの専門領域をより深化させることができる能力	多様な問題点の解決と持続的社会の発展に貢献できる能力	教養と国際的な視点と対話能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	8単位	合計30単位修得
専門科目		○		○						20単位	
一般教養科目						○				2単位	
正課外	研究倫理教育			○							
	情報倫理教育			○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 応用数学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026. 4. 1

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="3">学修手段</th><th colspan="5">学修目標</th><th>周知</th><th>把握</th><th>成果</th><th colspan="2">修了</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学修目標を
達成する方法</th><th colspan="5">学生の学修成果の目標（何を身に付けるか）
修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら</th><th rowspan="2">学修目標と
学修手段を
あらかじめ
学生に示す場所</th><th rowspan="2">学生が学修成果を
把握する方法</th><th rowspan="2">学生の
学修の成果物</th><th colspan="2" rowspan="2">修了認定
（学位授与）</th></tr>
<tr><th colspan="2">DP1</th><th colspan="2">DP2</th><th>DP3</th></tr>
<tr><th></th><th>高度な専門的学識と研究能力</th><th>論理的・批判的に思考し、諸問題を能動的に解決できる能力</th><th>社会に貢献あるいは教授する能力</th><th>科学の発展に貢献する能力</th><th>教養と国際的な視点と対話能力</th><th></th><th></th><th></th><th colspan="2"></th></tr>
<tr><td colspan="2">修士の学位論文※1
→研究の成果物</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td>学位論文審査基準、
研究指導概要</td><td>研究指導計画書、
修士の学位論文</td><td>修士の学位論文、
修論発表</td><td colspan="2">審査合格</td></tr>
<tr><td colspan="2">研究指導科目※2
→研究の過程</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">科目系統図、
シラバス、
学修目標と学修手段の対応表（本表）、
研究指導概要</td><td rowspan="3">成績評価、
単位修得状況、
研究指導計画書、
アセスメントテスト、
学会発表</td><td rowspan="3">レポート、
単位の修得</td><td>8単位</td><td rowspan="3">合計30単位修得</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門科目</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般教養科目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">正課外</td><td>研究倫理教育</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2" colspan="4"></td></tr>
<tr><td>情報倫理教育</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 科学教育専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1			DP2	DP3						
		高度な専門的知識	高度な研究能力	教材開発やICT等を活用した指導法の開発ができる能力	知識基盤社会を多様に支え、科学的知識・技能を生かすことができる能力	科学（理数）教育の普及および啓発	科学的に良識のある市民の育成に貢献できるのか力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	12単位	合計30単位修得
専門科目		○			○						16単位	
一般教養科目					○	○					2単位	
正課外	研究倫理教育	○										
	情報倫理教育	○										

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 全専攻 博士後期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：理学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）
		DP1	DP2	DP3	DP4				
		極めて高度な専門知識	研究者として自立して研究活動を行う能力	自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する力	国際的な視野を持って活躍できる能力				
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文	博士の学位論文、博論発表	審査合格
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	単位修得（単位数は専攻によって異なる）
一般教養科目			○						
正課外	研究倫理教育		○						
	情報倫理教育		○						

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

理学研究科 科学教育専攻 博士後期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：学術）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）
		DP1	DP2	DP3	DP4				
		極めて高度な専門知識	研究者として自立して研究活動を行う能力	自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する力	国際的な視野を持って活躍できる能力				
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文	博士の学位論文、博論発表	審査合格
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	単位修得（単位数は専攻によって異なる）
一般教養科目			○						
正課外	研究倫理教育		○						
	情報倫理教育		○						

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。